

塾内選抜制度入試説明会



経営管理研究科は、1978年にわが国初の2年制MBAコース(大学院修士課程)として設立され、それ以来、慶應義塾建学以来の実学の精神のもと、ケース・メソッドによる実践的な教育を基盤として、時代に応じたビジネスリーダーの育成に努めてきました。入学者は実務経験のある社会人がほとんどですが、その環境で自らを鍛える意欲のある学部新卒者にも門戸を開いています。本塾在学中の学部生のみを対象とした塾内選抜入試制度の説明会を以下の日程で開催しますので、興味のある方はご参加ください。2014年度入学を目指す方だけでなく、大学院進学を検討している多くの方のご参加をお待ちしています。

説明会概要

日程1

4月17日(水) 16:30 ~

湘南藤沢キャンパスO(オミクロン) 1階12

日程2

5月16日(木) 16:30 ~

三田キャンパス南校舎7階473

日程3

5月31日(金) 18:10 ~

日吉キャンパス協生館4階 階段教室3

参加対象

本塾全学部 1~4年生

事前申込不要、途中入退出可

2014年度入学 塾内選抜入試制度概要

- 定員 若干名
- 出願期間 2013年6月10日(月) ~ 6月24日(月)
- 試験日 2013年7月8日(月)
- 出願資格(塾内選抜制度に限り)

1. 本学学部を2013年4月以降2014年3月までに卒業または卒業見込みの者。
2. 本学学部の2012年度までの成績証明書に記載された評語に基づいて、以下の方法で計算された平均点(小数点以下第2位を切り捨て)が3.2以上の者。

平均点 = $\frac{(\text{評語のGrade Point} \times \text{単位数})\text{の総和}}{\text{取得単位数の総和}}$
評語のGrade PointはA:4.0、B:3.0、C:2.0

これら以外の評語、および自由科目は、平均点の対象外とする

*この出願資格は、秋期・春期の入試には適用されません。学部生はこの出願資格および塾内選抜に出願したか否かに係らず、秋期・春期の入試にも出願できます。

- 募集要項は5月上旬頃研究科HP上にて公開予定。

www.kbs.keio.ac.jp

学生の声 (2011年度修了生)

高校生の頃から、自分のキャリアの中でいつかMBAを取得して経営に携わりたいと考えており、塾内選抜入試制度は良いきっかけとなりました。入学当初は、新卒生と実務経験者の差を歴然と感じ圧倒されましたが、新卒には、何を聞いても恥ずかしくないという武器があります。固定観念にとらわれずに、柔軟な発想で新たな発見を提供できるという活躍の場があることを実感し、自信を持てるようになりました。実務経験者と本気の議論を交わしていく中で、各業界それぞれの特徴や具体的な仕事内容について触れることができたのも大きな収穫です。また、論理的思考能力と自分の考えを自分の言葉で表現する力が徹底的に鍛えられ、就職活動においても大変役立ちました。

菅尾 史樹 2010年経済学部卒業(就職先:三井物産)



学生の声

(2011年度修了生)



実家が会社を経営しており、人生の中で一度は経営学を体系的に学ぶ必要性を感じていました。塾内選抜入試制度は、社会人になってから休職・退職して入学するよりも、学部
の延長線でチャレンジできる点が魅力です。もちろん、新卒は実務経験がないので知識
や経験の面でハンディがあるのは事実ですが、KBSには互いに助け合う文化があり、財
務管理やマーケティング、生産管理など各分野に秀でた同級生が自主的に開いてくれた
勉強会に随分と助けられました。年上の社会人の方々と同期として肩を並べて勉強したり、
議論を重ねたりすることは他ではできない経験です。カリキュラムにはグループ単位での
プロジェクトも多く、強い一体感・結束力が感じられ、自分を刺激し高める場として最適
な場所だと思いました。

川島 一浩 総合政策学部2010年卒業（就職先：アクセンチュア）

学部時代明確な目標を持たないまま働き始めることに不安を感じ、自分の専門分野を見
つけ実力をつけたいと思い大学院進学を決めました。他大学院も検討しましたが、実務
経験者がほとんどという環境の中で学べる点が魅力的だったこと、経営学という分野を
学ぶ必要性も感じていたことからKBSを選びました。

入学後は実務経験者の中で新卒だからといって特別扱いされることはなく、対等に接し
てもらい、私の意見にも真剣に応えていただきました。多種多様なバックグラウンド、業種、
企業、国籍の同級生との議論から、それぞれの立場によって異なる考え方や価値観など
多くのことを学びました。この経験はこれから社会に出ていったのち役立つと確信してい
ます。

大庭 将裕 経済学部2010年卒業（就職先：シスコシステムズ合同会社）



学部生のとき、ファイナンスに興味を持ち、より専門的に勉強したいと考え、社会に出るの
が2年遅れるというディスアドバンテージを背負っても大学院に進学したいと思いま
した。KBSを選んだのは、国内のビジネススクールの中でも歴史があり、ケースメソッドや
ディスカッション中心のカリキュラムに惹かれたからです。特に印象に残っている授業は、
2泊3日のビジネスゲーム合宿。自分の意見を主張するだけでなく、あらゆる意見の中か
ら共通点や修正点を見つけ出し、全体最適へと持っていく実務経験者ならではの手法を
同級生から学びました。実務経験者の中でどれだけ叩かれても臆せず自分の主張を堂々
と展開できる人にとって、KBSほど成長させてくれる環境はありません。

浦川 雄登 環境情報学部2010年卒業（就職先：住友商事）

学部時代興味をもったBOPビジネスについてもっと深く学びたいと考え、日本における
BOPビジネス研究の第一人者である岡田先生のいるKBSへの進学を決めました。国際
認証(AACSB、EFMD)を受けており、海外提携校が多いこともKBSの魅力のひとつ
です。実際、英語で開講されている科目を履修し、海外トップスクールからの交換留学生
と一緒にプロジェクトを行うという貴重な体験もできました。授業の内容にも満足してい
ますが、現場で様々な実務経験を積んできた多くの方と同級生としてつき合えたことが
何よりの経験だったと感じています。修了後の進路も、銀行から企業派遣で来ていた方
の話を聞き業務に興味を持ったことで、自分自身も銀行を目指すようになりました。修了
後はKBSで得た知識と経験を生かし、日本経済を復活させるような仕事がしたいと考え
ています。

鈴木 悠大 法学部2010年卒業（就職先：銀行）

